

令和4年度実施協働事業の評価結果報告

令和5年度第1回国分寺市協働事業審査会にて、令和4年度に実施した協働事業（6事業）について評価を実施しました。

日 時：令和5年5月29日（月）午前10時から午後4時10分まで

場 所：リオンホール（cocobunji WEST 5階）

1 【評価対象事業】

協働事業名称	実施団体	担当課	実績額 (市負担額)
①提案型協働事業 こくぶんじエリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため「野川源流スクール」（自慢できる源流のまちへ）開講事業	特定非営利活動法人 まちづくりサポート 国分寺	緑と公園課	610,500円
②提案型協働事業 多職種による妊娠期から未就学 児期のサポート事業	ゆいぼっこ ～地域につなげるサ ポーター’S～	健康推進課	1,365,400円
③公募型協働事業 こくぶんじカレッジ協働事業	特定非営利活動法人 MY style アット	まちづくり推進課	4,237,769円
④公募型協働事業 こくぶんじ青空ひろば事業	認定特定非営利活動 法人 冒険遊び場の会	子ども子育て支援課	7,933,000円
⑤公募型協働事業 市民室内プール親子ひろば事業	特定非営利活動法人 コアラッコ子育てサ ポート	子育て相談室	2,487,610円
⑥公募型協働事業 国分寺市職員 NPO 派遣研修事業	国分寺・協働を進め る NPO 連絡会 （構成団体：認定 NPO 法人冒険遊び場の会 ／NPO 法人まちづく りサポート国分寺／ NPO 法人コアラッコ 子育てサポート、協 力団体：美しい用水 の会／ゆいぼっこ～ 地域につなげるサポ ーター’S～）	協働コミュニティ課	341,000円

2【評価の手順】

- (1) 事業終了後（令和5年4月1日以降）実施報告書等を団体が担当課に提出
- (2) 事業費の精算
- (3) 実施団体と担当課それぞれが自己評価票を作成
- (4) 自己評価を基に，実施団体と担当課両者による相互評価票の作成
- (5) 協働事業審査会による評価
 - ①実施団体による事業報告（プレゼンテーション）
 - ②委員による質疑，団体及び担当課による回答
 - ③報告書，自己評価，相互評価，質疑応答を基にした委員による評価

3【評価項目】

- (1) 事業の目的は達成できたか
- (2) 単独で実施するより効果的，効率的な事業展開ができたか
- (3) 良質な成果，波及効果・相乗効果，市民自治の推進につながったか
- (4) 改善すべき点や今後の課題はあるか
- (5) 全体的な評価等

4【評価結果】

別紙「審査会による評価」のとおり。

5【国分寺市協働事業審査会委員】

(敬称略)

委員種別	氏名	職業など	出欠
1号委員	田代 美香	特定非営利活動法人 ぐらすかわさき副理事長	出席
同上	島岡 未来子	早稲田大学 研究戦略センター 教授 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーションスクール 教授	出席
同上	跡部 千慧	立教大学 コミュニティ福祉学部 助教	出席
2号委員	沢柳 和彦	国分寺市 政策部長	出席
3号委員	伊藤 寿一	国分寺市 総務部長	欠席
4号委員	杉本 守啓	国分寺市 市民生活部長	出席
2項委員	大隈 亮	市民公募委員	出席
同上	神田 淳	同上	出席
同上	遠藤 威俊	同上	出席

令和4年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	1 【提案型】こくぶんじエリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため「野川源流スクール」（自慢できる源流のまちへ）開講事業
実施団体	特定非営利活動法人 まちづくりサポート国分寺
担当課	緑と公園課
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>想定以上の受講希望者が集まり、市民の関心が高かったことから、気運醸成につなげる事業として目的は達成できていると考えられます。特に高校生以上を対象としたシニアスクールにおいて、受講生 65 名がボランティアガイドとして登録したことから、この人的リソースを活用した今後の事業の展開、発展に期待します。</p>	
(2) 単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>団体の持つノウハウを生かしながら、担当課と協働で実施することで学校との連携もスムーズに行えたことから、非常に効果的な事業が展開できたと考えられます。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>充実した内容の教本冊子の配布や、ジュニア、シニアともに検定を実施するなど、受講生の興味・関心を引き出す工夫を行い、児童、受講生からの評価も高かったことから、良質な成果につながっていると評価できます。</p> <p>また、学校からの評価も高く、今回実施した小学校以外においても、中学校も含めた本事業の拡大が望まれており、波及効果につながっていると考えられます。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>GIGAスクール構想の取組が進んでおり、児童・生徒が1人、1台タブレットを持っている状況を踏まえ、これらデジタル機器の活用や紙媒体との連携をしていく必要があります。このことから、今後、アクティブラーニングのような形で児童・生徒が自ら学ぶような工夫を行うとともに、学年間、学校間等の横展開につなげていくことが望まれます。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>今後、全校実施や学年を増やす等の各学校からの要望に添えていくためには、今回 65 名もの登録があったボランティアガイドの活用が課題であると考えます。今後、ボランティアガイドの個人情報の取扱い等の課題を整理しながら、事業拡大に向けた活用及び組織化等を進めていくことを期待します。</p> <p>今後も本事業の拡大を進め、気運醸成の高まりを成果とし、事業者である東京都に対し、「野川整備事業」の早期実現の要請を行っていくことが望まれます。</p>	

令和4年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	2 【提案型】多職種による妊娠期から未就学児期のサポート事業
実施団体	ゆいぽっこ ～地域につなげるサポーター'S～
担当課	健康推進課
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>サポートを受ける対象者に対して、画一的な対応とせず、困難を抱える方や外国にルーツがある方など、様々なケースを想定した事業となっています。</p> <p>また、事業名のとおり多様な職種が連携しながら、複雑化、多様化する課題に対応しており、事業目的は達成できたと評価できます。</p>	
(2) 単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>昨年度、本審査会で指摘があった、参加者数や多職種によるサポートの実施に係る課題については、担当課等と連携し、解決を図り、事業全体をレベルアップさせたと評価できます。また、行政サービスの隙間の部分をカバーしていることから、協働事業として非常に効果が高いと考えます。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>妊産婦が直接相談することが難しいケースであっても、身近な家族が専門職に相談できる体制を取っていることは、本事業の一つの成果として挙げられると考えます。引き続き、本人以外の身近な方も相談できるような体制を整えていくことが望まれます。</p> <p>また、目標値は未達成ながらも、多くの市民がトークルームへの参加や電話・メールで相談等を行えたことは非常に意義のあることであり、良質な成果と評価できます。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>「妊娠期から出産・子育てまで継続した支援により地域とのつながりを作る力をつけ、孤独な子育てを回避する。」という本事業の目的を踏まえ、課題としても挙げられていた妊婦向けの平日開催、就労妊婦の参加等について、引き続き検討していく必要があると考えます。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>発表においては、テキスト情報が多く、事業の要旨を把握することが難しいため、定量的な数値での報告を加えるなどの改善を行ってください。</p> <p>また、目標値に対して達成、未達成のばらつきが見られます。質・量のどちらを重視していくか、現在の目標値の設定が適切なのか再度検証し、更なるレベルアップを期待します。</p>	

令和4年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	3 【公募型】こくぶんじカレッジ協働事業
実施団体	特定非営利活動法人 MYstyle アット
担当課	まちづくり推進課
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>受講生が終了後も熱意をもって活発に活動を継続して行っていることから、「自ら企画・立案・実践するまちづくりの担い手を育成し、市民主体のまちづくり活動を促進する。」という目的は達成できたと考えます。</p> <p>一方で、修了生が本事業の運営に関わるなど評価できる部分ではありますが、「まちづくりに関する相談員を育成する。」という目的の達成に向けて、本事業以外のまちづくり支援機関等と連携できる仕組みを構築していく必要があります。</p>	
(2) 単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>実施団体と担当課が連携し、受講生や修了生等が様々なつながりの場を提供することで、幅広い交流が生まれていることは評価します。今後、修了生の活動が継続して行われ、拡大していくために、更なる場の提供や情報発信を行っていくことが望まれます。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>受講生のチームにより、10 のプロジェクトが発表され、受講終了後も継続してまちの活性化につながるプロジェクトが展開されていることから、本事業の良質な成果として評価できます。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>受講の応募人数が募集人数を上回った場合の選考方法について、明確に示す必要があると考えます。</p> <p>また、今回のように募集人数を上回る応募により受講ができない市民が出てしまうケースや、逆に、今後応募人数が募集人数に満たなくなることも想定して、対面形式だけでなく講義内容の動画視聴による参加等、参加方法の工夫を検討していく必要があると考えます。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>本事業から生まれた活動が、多くの市民参加につながる事業として育ってきている状況を踏まえて、修了生のその後の活動に関する周知や、まちの活性化につながる仕掛け等の検討が必要であると考えます。その上で、本事業のアウトカムとなる、最終的な受益者である市民に何をどのように提供できたかを提示していくことが、本事業の成果として更なる評価につながると思います。</p>	

令和4年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	4 【公募型】こくぶんじ青空ひろば事業
実施団体	認定特定非営利活動法人 冒険遊び場の会
担当課	子ども子育て支援課
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>長期に渡って安定的な事業を行っており、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことで参加者が増加しています。乳幼児、その保護者及び子どもの居場所としての役割を果たしており、事業目的は達成できたと評価できます。</p>	
(2) 単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>本事業において、実施団体職員と担当課職員が交流することにより、新しい技術や知識を共有したり、立場を入れ替えたロールプレイを行ったりすることで、双方の質・スキルを高めることにつながっており、効果的、効率的な協働事業となっています。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>実施団体が作成したパンフレットについては、事業紹介におけるQRコードの活用や、やさしい日本語の導入など、より多くの市民に見ていただき、参加につなげようとする工夫が随所に見られます。他の市民活動団体においても活用していただきたい取組となっており、今後の波及効果が期待されます。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>事業を実施できる公園がない地域もあり、参加人数に地域差が見られます。地域差解消に向けて、公園以外の市の施設等の活用等、開催場所、手法を模索し、「市内の公園を用いる」という事業目的自体の見直しも含めた、課題解決を期待します。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>成熟した非常に取組効果の高い事業であると考えます。現状の課題については、調査、検討を重ねつつ、次のステップに向けた新たな取組を始めていただくなど、本事業をブラッシュアップしていくことを期待します。</p>	

令和4年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	5 【公募型】国分寺市親子ひろば事業
実施団体	特定非営利活動法人 コアラッコ子育てサポート
担当課	子育て相談室
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>コロナ禍で外出を控える親子を主な対象とした「オンラインひろば」の開催や、定期的な情報提供や案内をするために LINE を活用するなど、デジタル化の取組が進められています。これらの取組は、子育て世代が気軽にアプローチしやすいものとして評価でき、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援するという事業目的の達成につながっていると評価します。</p>	
(2) 単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>実施団体と担当課が連携を取って実施場所を検討し、利用定員を増やしていることや、研修や会議を実施し情報の交換等を行っていることは評価できます。また、子ども家庭支援センター子育て応援パートナーと連携しながら相談等を行うことで、支援が必要な方々に寄り添った対応ができており、協働で実施している成果であると考えます。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>利用者が、本事業内でイベント企画立案や講師を務める「ねこのてクラブ」の実施や、本事業から子育て自主サークルが生まれるなど、市民が中心となった活動を行っていることは、市民の自主的な活動につながる取組として評価できます。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>デジタル化の取組を進め幅広く周知等を行っている一方、参加者が固定されているようにも感じられます。育休中の男性等、多様な参加者を呼び込むような事業内容の検討が必要であると考えます。</p> <p>また、コロナ禍後、更に参加人数が増加することを想定して、開催方法や開催場所、参加人数等の検討は必要と考えます。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>子ども家庭支援センター子育て応援パートナーとの連携については、協働における子育て支援として非常に効果があると思われれます。</p> <p>以前よりは改善されていますが、報告書及び発表について、事業の全体像が明確に伝わるよう、その内容を整理していただく必要があると考えます。</p>	

令和4年度実施協働事業「審査会による評価」

事業名	6 【公募型】国分寺市職員 NPO 派遣研修事業
実施団体	国分寺・協働を進める NPO 連絡会
担当課	協働コミュニティ課
事業の成果に関する評価	
(1) 事業の目的は達成できたか？	
<p>研修職員の協働事業に関する理解度を三つの設問で測定した結果、事業開始時が5点満点で2点台だったのに対し、終了時は4点前後まで上がっていることから本事業の目的は達成できていると評価します。</p>	
(2) 単独で実施するより効果的、効率的な事業展開ができたか？	
<p>NPOのノウハウやつながりを活用した市の事業であり、協働事業として効率的な事業展開ができたと考えられます。</p>	
(3) 良質な成果、波及効果・相乗効果、市民自治の推進につながったか？	
<p>良質な成果、波及効果等については、今回研修を受けた職員の視点の変化等によるところであり、今後の協働事業の展開に期待します。</p>	
(4) 改善すべき点や今後の課題はあるか？	
<p>本事業の目的の一つにもある、行政とNPOの相互理解を深めるということを踏まえ、NPO側に効果がもたらされる仕組みを検討していく必要があると考えます。</p> <p>また、職員に対する効果測定は NPO が困っている前提の設問になっており、違和感が残ります。設問を再検討するとともに、NPOを取り巻く環境について、もう少し踏み込んだ内容の研修を行っていくことが望まれます。</p>	
全体的な評価等記述欄	
<p>本事業に参加した職員や団体が新たな協働事業を創出し、受益者となる市民の方々にどのようなサービスを提供できるかということが、最終的なアウトカムとして本事業の目的となると考えます。このことを踏まえ、長期的な視点を持って、本事業をレベルアップさせていくことが望まれます。</p>	